

慮して、学習活動や観察・実験をい
くつか準備することにより一斉指導
を改善する。

三 自然の事象に関する規則性をとら
え、科学的な見方・考え方の育成に
努める

(一) 科学的な見方・考え方を発達段階
に応じて身につくように適切な事象
提示を工夫する。

(二) 既有経験や知識と関連づけて、事
象を判断したり説明したりする活動
の場を設定する。

(三) 多様な考えや方法があることを理
解し、情報、意見を交換する学習の
仕方を訓練する。

四 学習のまとめや評価を適切に行い、
基礎的・基本的事項の確かな定着を
図る

(一) 授業のまとめを必ず行い、学習内
容の確実な定着を図る。

(二) 形成的評価の場、方法、手だてを
明確にして行い、生徒一人一人に対
しての確かな指導が進められるよう
にする。

(三) 生徒一人一人の習得の程度やつま
ずきの状況を把握し、追指導や再実
験をするなど配慮する。

(四) 練習や生徒の活動の時間を確保し、
基礎的・基本的事項が確実に身につ
くようにする。

音楽

豊かな音楽活動を通して、生徒の音
楽的感性を培い、音楽を愛好する心情
を育成するため、次の点に努力する。

一 音楽的諸能力を育てる指導が効果
的に展開されるよう、指導計画を改
善する

(一) 題材の設定に当たっては、「主題
による題材」を中核としながら、系
統的・発展的な指導が継続して行わ
れるよう計画し、個々の題材につい
て具体的な目標を設定する。

(二) 表現と鑑賞との関連ある活動を通
して、基礎的・基本的諸能力が確か
に身につくよう、指導内容の精選、
重点化を図り、ゆとりある学習が展
開されるようにする。

(三) 生徒が生き生きと主体的に学習に
取り組むことができるよう、生徒の
興味・関心や小学校との関連に配慮
した教材の選択、構成に努める。

(四) 授業の反省と評価を指導計画の改
善に役立てるようにする。

二 生徒が進んで音楽活動に取り組め
るよう、指導法の改善に努める

(一) 一人一人の実態を観察や諸調査に
よって的確に把握し、生徒が成就感

を味わいながら活動する過程で、豊
かな音楽的感性が培われるよう、指
導の在り方を工夫する。

(二) 生徒の主体的な活動を促進するた
め、グループ活動などを通して生徒
自ら音楽の美しさを追求する態度が
育つよう、指導の工夫に努める。

(三) 創造的な自己表現活動の活発化を
図るため、即興表現などを取り入れ
楽しく活動する中で必要な知識や技
能が身につくよう工夫する。

(四) 指導と評価の一体化を図り、個を
生かす授業の展開に努める。

三 「日本の音楽」の指導を充実する

(一) 「日本の音楽」の特質や独特の味
わいを感じさせ、豊かな音楽観を培
うことができるよう、適切な題材の
設定に努め、指導法を工夫する。

(二) 郷土の音楽の指導では、指導のね
らいを明確にし、地域素材を積極的
に教材化して、生徒に親しみを持た
せながら指導を進めるよう配慮する。

△選択▽

(一) 音楽を一層深く追求するための創
意ある指導計画を作成し、具体的な
指導目標、内容を設定する。

(二) より質の高い音楽を学習する喜び
を味わわせるよう、教材の選択や指
導法を工夫する。

美術

造形的な創造活動を通して、表現と
鑑賞の調和のとれた系統的な指導がで
きるよう、次の点に努力する。

一 主体的な学習活動が展開できるよ
う指導計画の改善・充実に努める

(一) 各学年の目標、内容を的確に押さ
えるとともに、指導内容の系統性と
関連性を踏まえ、基礎的・基本的事
項を指導計画に位置づける。

(二) 題材の設定に当たっては、指導分
野に偏りがないように配慮し、意欲
的に造形活動に取り組めるよう地域
の素材や開発に努める。

(三) 材料・用具及び技法に関しては、
系統的・発展的に指導できるように指
導計画に位置づける。

(四) 鑑賞の対象となる資料の内容や範
囲については、偏りや広がり過ぎの
ないように配慮するとともに、鑑賞
の時間を明確に位置づけて計画する。

(五) 学習指導の計画・実施・結果を総
合的・継続的に評価し、創意を生か
した指導計画への改善を図る。

二 造形的な創造活動の喜びを味わ
せる授業の展開に努める

(一) 一人一人が明確に表現主題を持つ